



智辯学園和歌山 SDGs宣言



本学園は国連が提唱する「持続可能な開発目標（SDGs）」に賛同し、積極的な取り組みを通じて、質の高い教育および地域貢献に努めてまいります。

理事長 藤田 清司

本学園のSDGsへの取り組み

1. 感謝の心

感謝の心（四恩）を基盤に「誠実明朗で知性あふれ、将来各分野で活躍するリーダーの養成」を目指します。

リーダー養成のために、「豊かな人間性を育むこと」を教育の基盤としています。

四恩

父母の恩

衆生の恩

三宝の恩

天地の恩

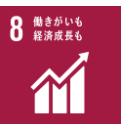
- アメリカやオーストラリア、韓国などの姉妹校との海外交流を重ね、世界平和の重要性の再認識と、真の国際人としての成長を目指しています。
- 英語でリーダーシップが取れる人材の育成を積極的に推進しています。
取組例：米国短期留学・海外修学旅行・GCP(グローバル探求)など
- 林間学校や臨海学校といった体験型学習を通じて、自主性や責任感、リーダーシップを養っています。
- 地域社会に貢献し、地域をけん引できる人材を育成します。



2. 強い絆

三位一体（児童生徒・保護者・教職員）で共に成長し、互いに敬い、助け合える環境づくりを目指します。

- 心のバリアフリー※を推進し、様々な立場の方が働きやすい、また学びやすい環境を整えています。
- 開校以来、男女共学としており、男女関係なく活躍できる環境を整えています。



※心のバリアフリー：様々な心身の特徴や考え方を持つすべての人々が、相互に理解を深めようとコミュニケーションをとり、支え合うことです。

3. 未来へ

地域社会に貢献し、未来にむけて地域と共に成長する地域に愛される学園を目指します。

- 探究活動での地域の風土などの体験学習を通じ、生徒が主体となって地域と交流する取り組みを行っています。
- 遠足や校外学習でのゴミ拾い、日々の児童生徒によるゴミの分別など、地域の美化活動に貢献しています。
また学園として、ゴミを減らすためにできることを児童生徒とともに考え、環境負荷軽減に努めてまいります。
- 地域貢献として、駅舎の清掃活動等のボランティア活動の実施、児童生徒による防災や人命救助等に貢献する自主的な校外活動、またブラスバンド部の地域の方々への演奏会などを実施しています。
- ICTの活用により、省力化や紙使用の削減に努めます。



SDGsとは・・・Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略であり、2015年9月に国連で採択された世界共通の目標です。2030年までに政府、企業、地域社会のあらゆる人がSDGsを実現するための役割を担っています

本件、智辯学園和歌山のSDGs宣言は紀陽銀行によるサポートにて作成しております





智辯学園和歌山のSDGsへの取り組み

1 感謝の心



感謝の心（四恩）を基盤に「誠実明朗で知性あふれ、将来各分野で活躍するリーダーの養成」を目指します。

2 堅い絆



三位一体（児童生徒・保護者・教職員）で共に成長し、互いに敬い、助け合える環境づくりを目指します。

3 未来へ



地域社会に貢献し、未来にむけて地域と共に成長する地域に愛される学園を目指します。

